

こわだ防災

Vol,5

2018 年 10 月

・本宿自治会 ・新宿自治会
・赤松自治会 ・赤松町自治会
・菱沼小和田自治会
・プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会
小和田地区自治会連合会

第 19 回 小和田地区防災訓練

2018（平成 30 年）10 月 14 日（日）実施

小和田地区では毎年 1 回 6 自治会による防災訓練を小和田小学校にて行っています。

今年も、各自治会の防災拠点から会場の小和田小学校まで徒歩にて集合。訓練のスタートは各自『避難者カード』の記入、名簿班へ提出から始まります。 今年は例年の訓練の他に避難所である小和田小学校から、医療拠点である赤羽根中学校まで車椅子で行かれるかどうか、また 通信手段のトランシーバーで赤羽根中学校まで、確実に交信できるかどうか、 この目的のもと一般道を使つての「避難誘導訓練」を取りいれました。

訓練種目 （体育館・運動場・一般道路）

- ① 避難所立ち上げ運営訓練
本部と各班（トランシーバー交信訓練）
- ② 応急救護訓練 （三角巾の使い方）
- ③ 救出救護訓練 （搬送法）
- ④ 水消火器訓練
- ⑤ 移動式ホース格納箱取扱い訓練
- ⑥ 避難誘導訓練（トランシーバー交信訓練）
- ⑦ 給食訓練
- ⑧ テント組立収納訓練
- ⑨ 体験コーナー（起震車体験・濃煙体験）



爽やかな秋空のもと、自治会連合会新倉会長の開会挨拶で「第 19 回防災訓練」が始まりました。

自主防災会・防災リーダーを中心に、各自治会員・防災対策課・配備職員・各消防分団・学校関係者・中学生・小さなお子さんなど 参加者は 総勢 435 人でした。今年も赤羽根中 1 年生の 2 人が進行の放送を受け持ち、小和田地区民児協の皆さんのご協力を得て大変有意義な防災訓練となりました。



天ぷら油から火が出た設定。実際に火をつけてお酢の消火器を使い、初期消火訓練



仮設トイレの組み立ては環境衛生班が担当。慣れると 6 分で出来上がる。パーツが多いので、何回も組立経験が必要だ。





避難誘導訓練（医療拠点まで車椅子で移動）
赤羽根中学までの道路で、この坂道がキーポイント。
ここで中学生が大活躍。力強くひっぱって難なくクリア
しました。ただ反省点もありました。*車椅子に乗る人
にヘルメットをかぶせた方が良い。*実際負傷した人を
運ぶとなると困難なことが多々出てくると思う
等。・・・所要時間 片道約 25 分で到着

トランシーバー交信訓練

赤羽根中までの各チェックポイント毎に本部と交信し電波状態を確かめました。
長いアンテナを使ったので感度良好。
学校の屋内では届きませんが外では大丈夫。
中学生も交信して報告体験をしました。



初期消火訓練（水消火器）

初期消火の基本です。家庭にある
消火器、実際に使ったことがない
と思います。こういった機会にぜ
ひ体験してください。

救出救護訓練（搬送法）

1 人搬送法・毛布を使用 6 人搬送
法・搬送用シートでの搬送法
反省点＝大人と中学生が組んで運
べるよう今後指導してゆきたい。

応急救護訓練（三角巾）

腕の負傷の手当・たたみ方・本結
び・解きかたなど、小グループに
分かれて訓練した。訓練を受ける
皆さんがとても上達してきた。



移動式ホース格納箱取扱い訓練

学校前の道路で実際の消火栓を使い、蓋を
開けるところからホースの接続、放水まで
の訓練を全員で受けました。マンホールの
蓋は女性でも開けられます

応急給食訓練

約 600 人分の給食を決められた時間で
作ります。準備から、片付けまで皆さん
とても手際良いです。美味しい豚汁と
主食を全員に配ばり、ほっと一息。

各自治会のテントで給食を食べて交流を深めます

